



2014 年度秋期
大阪サテライトキャンパス公開講座

①「出エジプト」の史実性とその思想史的意義

2014 年 12 月 6 日 (土) 13:00 ~ 14:30

講師：月本 昭男 (神学部神学科教授)

奴隷として苦しむイスラエルの民がモーセに率いられてエジプトから解放される「出エジプト」の物語は、旧約聖書のなかでも最もよく知られた歴史物語でしょう。ユダヤ教徒は旧約聖書の時代から今日まで、年ごとに過越(すぎこし)の祭や仮庵(かりいお)の祭を祝って、この物語を想起し続けてきました。では、この物語の背後にはどのような史実があったのでしょうか。また、この物語を伝える意味はどこにあったのでしょうか。この講座では、「出エジプト」伝承の史実性を歴史資料に、その思想史的意味を旧約聖書に探ります。そのうえで、物語の今日的意義を考えてみましょう。

②私の「歴史小説論」

(2014 年 NHK 大河ドラマ『軍師官兵衛』で「キリシタン」はどう描かれたか。)

2014 年 12 月 6 日 (土) 15:00 ~ 16:30

講師：川村 信三 (文学部史学科教授)

歴史専門家の書くいわゆる「専門書」と、小説家が書く「歴史小説」とはどのようにちがうのか。あるいはどの程度同じなのか。司馬遼太郎は『播磨灘物語』で、歴史小説としての黒田官兵衛に息をふきこみました。そのすぐれた人物描写から私たちは官兵衛の生きた時代、人との交わりなどを想像力豊かに回想します。しかし、専門歴史書からはそうしたダイナミズムがなかなか生まれません。フィクションとノンフィクションのちがいだと言ってもいいかもしれませんが、歴史小説にも史実は徹底的に検証され、専門歴史書にも、想像をめぐらした仮説は混在しています。本年は大河ドラマでキリシタン大名が史上はじめてとりあげられました。その描かれかたから、史実とはなにか、歴史を語るとはどういうことかを検討したいと思います。

【会 場】 上智大学 大阪サテライトキャンパス

地下鉄御堂筋線「中津」4 番出口徒歩 2 分

阪急電車「梅田」茶屋町口徒歩 4 分

JR「大阪」御堂筋北口徒歩 10 分

【受講料】 各講義 2,500 円 (全講義 5,000 円)

※どちらか一講座のみの受講も可能です。

定 員：50 名 / 各回

【お申し込みについて】

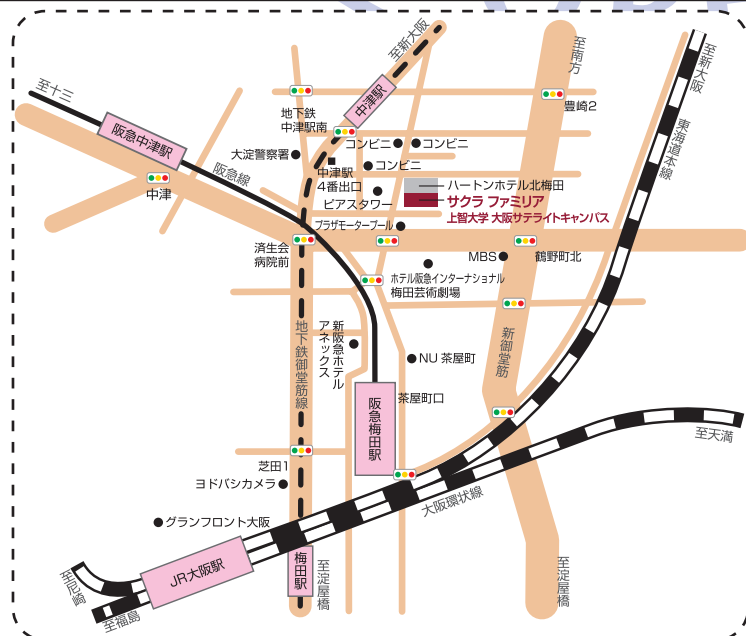
裏面の申し込み用紙を下記まで F A X かご郵送ください。

メールにてお申し込みの場合はお名前・郵便番号・住所・

電話番号・受講希望講座名をお知らせください。

(本学卒業生は卒業年・学部学科。在校生保証人は学生氏名・

在籍学部学科もお伝えください。)



【上智大学大阪サテライトキャンパス】

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-12-8 サクラファミリア2階

電話：06-6450-8741 FAX：06-6450-8742 (開室時間：平日 10:00 ~ 18:00 土曜日 11:00 ~ 18:00)

Mail : osaka_sc@cl.sophia.ac.jp HP : http://www.sophia-osaka.jp/